

ミニデイサービスまごころの利用者さん  
七夕祭りに出演  
主役で“はつらつ”  
楽器演奏と踊りを披露

足取りゆっくり、でも顔いきいき

研修南保育園七夕祭り

当会のミニデイサービスまごころは、昨年続き今年も研修南保育園の皆様のご好意をいただき、七夕祭りにお年寄りが出演させていただきました。

本来なら、園児さんの演技を見せていただく為にご招待される側ですが、お年寄りが演技をし、逆に見ていただくのです。出演が決まって以来、ミニデイサービス参加の皆様はよりパワーが全開。ご自身の能力をフル回転で練習されました。全員が何かのハンディをもっておられますが、そんなこと関係なし。自分たちで手縫いした、上下別々に仕立てたゆかたに、赤のたすき、頭に手ぬぐいのあねさんかぶりで堂々の楽器演奏(曲は双頭の鷲の旗の下で)と木曾節を和太鼓を打つ人、踊る人で会場を沸かせました。園児たちがお年寄りの演奏を食い入るような目で見つめていたのが印象的でした。会場の若いお母さん方から「私達もああいうお年寄りになりたい」と聞かされて、感激して泣き出した車椅子のKさん。「また来年」もうこんな声が聞こえました。

8月の予定

- 1日(日) 会報「まごころ」発行
- 2日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)  
北部中学生福祉体験学習ミニデイサービスに参加  
- 歌ボランティア 石原、大橋
- 5日(日) 定例会
- 6日(月) - 歌ボランティア 岩本、小島、森
- 8日(水) ミニデイ委員会
- 9日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)  
大和南中学生福祉体験学習ミニデイサービスに参加  
- 歌ボランティア 古田、宮田  
運営委員会
- 13日(月) - 歌ボランティア 平子、森
- 16日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)  
- 歌ボランティア 牧野、鈴木
- 18日(土) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 20日(月) - 歌ボランティア 谷、小島、森
- 22日(水) ミニデイ委員会
- 23日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)  
- 宮女子高生福祉体験学習ミニデイサービスに参加  
- 歌ボランティア 倉知、田中  
- 歌ボランティア 川合、岩田
- 27日(月) - 歌ボランティア 倉知、楠
- 30日(木) ミニデイサービス、ミニデイ定例会 (場所・事務所)  
- 歌ボランティア 倉知、楠  
理事会



青少年ボランティア福祉体験学習  
当会ミニデイサービスで受け入れ

(7月26日・8月2日・9日・23日)

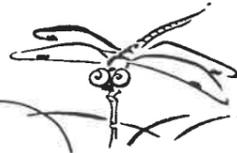
愛知県及び一宮市社会福祉協議会では青少年に福祉の問題の理解を深めてもらおうとボランティアを希望する中・高校生対象に福祉関係施設での体験学習事業を開催します。昨年に続き今年も「まごころミニデイサービス」で受け入れることになりました。

下記の4校が体験学習に参加します。

- 7月26日・大和中学校生徒5名
- 8月2日・北部中学校生徒5名
- 8月9日・大和南中学校生徒5名
- 8月23日・一宮女子高校生4名

まごころの車椅子を臨時貸し出し

骨折の幼稚園児に必要なだけ、松葉杖使用になつたが、小さくて上手く出来ないため、車椅子が必要とされてきました。会では早急対応、お子さんの骨折が治るまで、当会が貸し出ししました。これは、お母さんが車椅子の貸し出しの相談を、一宮保健センターに問い合わせをいただき、早速、一台を臨時に使用させていただきました。



福祉用具リサイクル情報  
譲りたい情報

- ◎ポータブルトイレ
  - ◎椅子型ポータブルトイレ
  - ◎シャワーチェア
  - ◎浴槽用椅子
- 譲りました情報
- ◎車椅子1台
  - ◎電動ベッド 1台

車椅子は、福祉サービスが受けられない33歳の筋ジストロフィーの女性の方に譲りました。

6月会員登録状況

協力会員	41人
利用会員	59人
賛助会員	108人
計	208人

6月介護保険訪問活動

訪問件数	49件
家事	363.5時間
複合型	253時間
身体	272.5時間
合計	889時間

ある外科医の独り言

医者としての我が人生

高 勝義

私が医師国家試験に受かり医者になったのは昭和43年10月である。医者になってもうすぐ32年が過ぎようとしている。無我夢中で医者の職業をこなしてきたのだが、ここで、何故自分が医者を選んだのか考えてみるのもよかろうという気になった。私が医者を選んだのは小学校の頃のような気がする。父は津島の片田舎で小さなミシン販売店を営んでおり、医療とは全く関係のない家庭に育った。私が2才か3才の頃に高熱を発し、右の顔面神経麻痺になってしまったらしく、父も母も私を名古屋の病院に連れていったりして大変苦労をしたようである。小さい頃は自分の顔面神経麻痺のことは大して気にもしていなかったが、少し色気がつく頃になると、それなりに気にするようになったような記憶がある。

当時、二ノ宮尊徳とか野口英世などの逸話が教科書にも書かれており、野口英世を自分の不具に合わせて、野口英世のようになりたいと思ったものである。津島の小学校や中学校は今のようないじめもなく、よい友達に恵まれ、自分の不具を気にすることもなく本当に楽しい時を過ごすことが出来た。高校は名古屋の明和高校へ通ったのであるが、ただ受験のための高校であり、友人も少なく、高校時代は全くの空白時代となってしまった。

当時は朝日科学という雑誌があったのだが、私はその雑誌の愛読者で、特に建築に興味があった。工学部に進んで大きな橋を架けたいと思っていたものである。いざ受験するのにどこに進もうかと決める段になった。今は亡き父親が、それとなく医学部に進んでほしいような素振りであり、どうせ受からないのなら、一度は親の希望する医学部を受験してみようという気になった。父は商売をしていたので、医者になれば生活に困ることはなかろうと思っていたようである。運がいいというのか悪運が強いというのか、幸いにも一発で受かってしまった。

しかし人生全てうまくいくわけではなく、大学へ入って丁度一年目に、交通事故で父と妹を失ってしまった。大学を辞めて家業を継ぐことも考えたが、自分のお人好しの性格から、ミシン屋の商売は無理と考え、残り5年を頑張る道を選んだ。大学の6年間は多くの人に助けられ、人々の暖かさに教えられた。そして卒業して故郷の愛知へ、よい先輩に恵まれ、人の命の大切さ、病気の人々を助ける喜びを教えられた。今は医者を選んだ自分の人生に間違いはなかったと思っている。最後に一宮の地で、そして山下で、病気で苦しむ人々のために我が人生を燃え尽きさせたいものである。(山下病院 院長)

9月の定例会は

- 9月2日(日) 事務所 9時30分～12時30分
- ◆定例会 9時30分～10時30分
- ◆勉強会 10時30分～12時30分
- ◆内容 「ケア検討と薬の知識について」  
薬剤師さんのお話をお聞きします

この日の午前のケアはお休みです  
利用者さんよろしく願い致します

まごころをご利用下さっています皆様から、暑中お見舞いのお葉書をいただきました。一通をご紹介させていただきます。

暑中お見舞い申し上げます  
日頃は皆さんに大変お世話になり有り難う御座います  
お陰様で退院後は日々元気を取り戻しております  
身体のレベルは落ちていますが自分の命を不完全燃焼で終わらせたくない思いで皆さんの力を借りながら  
毎日大切に過ごしております  
何かと迷惑な事も多いかと思っております  
よろしくお願いします  
お願い致します